

[現在、富士山静岡空港では、大規模盛土工事を伴う滑走路端安全区域の拡張工事(=RESA工事)を行っています。]  
[この回覧板は、RESA工事に関するお知らせを定期的に情報提供するための回覧板兼広報紙です。]

Topic

盛土試験施工を実施しました。

安定した盛土を造るには、適切に土砂を締め固める必要があります。

上載盛土工事で使用する土砂が、基準を満たす締め固め密度になる転圧(締め固め)回数を調べるために、試験施工を行いました。

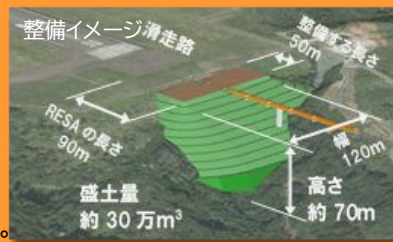
現在実施している補強盛土工事の施工完了後、今回の試験施工結果に基づき、上載盛土工事に着手する予定です。

転圧中



滑走路端安全区域 (RESA) とは

RESAは、滑走路端安全区域(Runway End Safety Area)の略称で、航空機が離着陸するときに滑走路を超えて走行し停止してしまう「オーバーラン」等を起こした際に航空機の損傷を軽減させるため滑走路の両端に設けられる区域のことを言います。富士山静岡空港では空港東側のRESAが新たな国際基準に適合するように拡張工事を行っています。



締め固め密度の計測(突砂法)



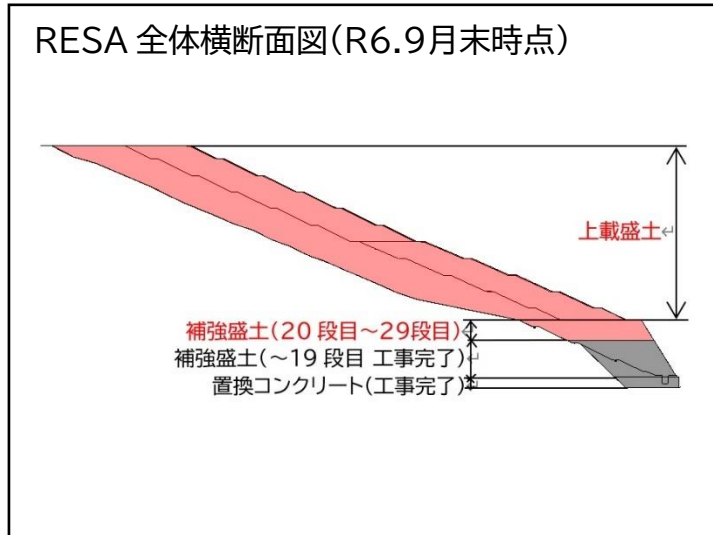
RESA 工事進捗状況

令和6年6月から着手している補強盛土の盛土工事は、R6.9月末時点で、高さ17.4m(29段)のうち、高さ 11.4m(19 段)まで施工済みです。現場及び運搬ルートの近隣の皆様には、御迷惑をおかけしますが、御理解と御協力をお願い致します。

現場写真(R6.9.25)



RESA 全体横断面図(R6.9月末時点)





10月から12月の資材等運搬ルートは下図のとおり予定しています。  
土砂・資材等運搬車両には、「空港マーク」を付け、騒音、振動、粉じん、迷惑運転等には細心の注意を払い、安全運転に心がけています。運搬のことに付いてお気づきの点がありましたら静岡県空港調整室(0547-37-7316)または前田建設工業(株)(0548-28-6222)まで御一報くださいますようお願いいたします。

## 10月～12月の盛土材・資材等運搬ルート図

**盛土材運搬(RESA 整備工)**  
11月～12月の間  
30tトレーラーダンプによる運搬  
6台×4回=計24台/日



**補強盛土材の運搬**  
空港経由で残土の場外搬出  
10月～12月 状況に応じた期間  
20～50台程度/日

生コンクリート搬入元  
(静岡県島田市阪本)

**生コンクリート 搬入ルート**  
10月～12月の内  
(突発的な運搬のみ)  
予備生コンプラント

盛土材 仮置き  
(空港西側用地)

**空港西側用地**

富士山静岡空港(株)

空港内 場周道路

**RESA 工事現場**

**盛土材運搬(RESA 整備工)**  
11月～12月の間  
10t ダンプによる運搬  
10台×8回=計80台/日

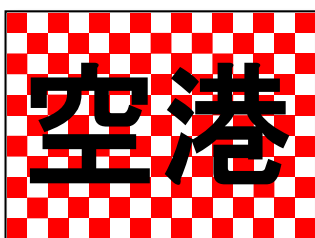
**生コンクリート 搬入ルート**  
10月～12月の内  
(突発的な運搬のみ)

生コンクリート搬入元  
(牧之原市勝間)

■ 資材等運搬ルートは、9月26日現在の予定で、予告なく変更する可能性があります。大きな変更がある場合には、別途、回覧板等によりお知らせします。

**【上限】 全体で 片道240台/日  
(往復480台/日)**

空港の資材等運搬車両(ダンプ等大型車両)は車両の前後に下のチェックのワッペンと工事業者の表示板を掲示しています。



ワッペン(A3版)

**【空港】RESA補強盛土工**  
**前田建設工業(株)**  
**金森 仁嗣**  
TEL 0548-28-6222  
表示板(A3版)

### 通行台数(ダンプ等大型車両) 凡例

台数	通行経路	未確定
150台/日以上 (往復300台/日以上)		
～150台/日 (～往復300台/日)		
～100台/日 (～往復200台/日)		
～50台/日 (～往復100台/日)		
1～20台/日 (往復2～40台/日)		

※台数は、片道の日当たり延べ台数(例 5台×5回/日=25台/日)  
※往復は、台数×2(積み荷+空積)(例 25台/日→往復50台/日)